

KAKEHASHI プロジェクト 派遣プログラム 事前準備・プログラム中の活動・事後活動について

事業目的

日本と北米地域との間で、将来、各界で活躍が期待される優秀な人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、我が国の外交基盤の拡充を目指す。

本事業参加青少年に、日本の外交姿勢、日本の魅力等を積極的に発信せしめ、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進に寄与する。

I. 事前準備(渡航前)

1. 派遣国についての事前学習

現地での交流を円滑に進められる様、派遣国の歴史、文化、政治、経済、また宗教、民族等について事前学習を行って下さい。派遣前に派遣団員間で調べたことを発表、共有し合い、理解をより深めるための機会を設けて下さい。

2. 日本紹介プレゼンテーション及び実演の準備

日本の魅力を発信するための事前準備として、日本についても詳しく学習することが大切です。日本の外交姿勢や歴史、文化、政治、経済、先端技術、在住地域の魅力などを調べ、学んだ上で準備を始めてください。

派遣国での学校交流時、以下 2 テーマについて、どちらか一方をプレゼンテーション、もう一方を実演形式にて発表を行っていただきますので、事前に派遣団員で発表方法や内容・構成を検討し準備してください。

(1) テーマ ※下記一例です (大学の紹介も入れてください)

- ① 日本及び自身の在住地域の魅力(次ページに具体例を掲載)
- ② 日本の伝統文化、ポップカルチャー等

(2) 時間:

プレゼンテーション、実演共にそれぞれ 30 分程度。

※プレゼンテーションや実演を実施する場所や、対象の人数はこれから調整しますのでテーマが決まりましたら、JICE 事務局にご相談ください。現地受入校と調整致します。

※プレゼンテーションに使える時間についても、現地受入校とこれから調整しますので、発表の内容や形式は、相手側の事情により、フレキシブルにご対応いただけますようお願いいたします。(プレゼンテーション・実演とも 15 分程度で実施できるものを複数ご用意いただくことをお勧めします)

(3) 言語:

英語で発表を準備してください。

(4) 形式:

プレゼンテーションはパワーポイント等利用可(目安 20 スライド(写真スライド除く))

※MAC ではなく Windows を推奨。

(5) その他

- ・発表時に利用するパソコンを 1 台持参してください。(Microsoft OS 以外はプロジェクターに接続できない場合がありますのでご注意ください。)
- ・持参する荷物が航空会社の無料手荷物規定を超えた場合の超過料金は自己負担となりますのでご注意ください。

【注】上記の事前準備以外に、プログラム内容に合わせた準備をお願いすることがあります。
その場合は担当者より別途ご連絡いたします。

◆プレゼンテーション及び実演のヒント◆

① テーマ設定(日本の魅力の具体例)

日本の外交姿勢や、日本及び自身の在住地域の歴史、文化、自然、地場産業、日本食、祭りや、世界に向けてアピールしたい魅力を高校生・大学生の目線から設定して下さい。また、これ以外にも日本の高校生・大学生の日常生活や、日本が誇る文化や産業として、アニメ、J-POP、かわいい文化、各種伝統芸能、武道、日本の製品・サービス、日本人の勤勉さ・きめ細かさ、価値観、治安の良さ等を含めても良いでしょう。

② プレゼンテーション・実演の作成・構成

- ・プレゼンテーションのスライドは文字ばかりにしないように心掛け、デジタルデータである映像、音声、動画、図、グラフ、写真等視覚に訴えるものをふんだんに盛り込んでください。長い文章は載せず、ポイントだけを箇条書きにすると聞き手にわかりやすいでしょう。
- ・発表時は聞き手とアイコンタクトを取るように努め、身振り手振りなどジェスチャーを用いるとより効果的です。
- ・クイズ形式など聞き手を巻き込む参加型にすると、より活発的な発表になるでしょう。
- ・自分の意見や体験を明示することが大切です。
- ・書籍やインターネット等から情報を引用しても構いませんが、使用したウェブ上の情報源や書籍名、著者等を参考文献として表記する必要があります。

③ 発表練習およびリハーサル

- ・発表する順番に立ち位置を確認しておいてください。
- ・聞き手に話しかけるように発表し、可能な限り暗記を試みましょう。
- ・最初から終わりまで通してリハーサルを行い、発表の長さに過不足が無いか確認しましょう。

Ⅱ. プログラム中の活動（滞在中）

1. 派遣国での気づきを、毎日「気づきノート」にまとめましょう

※毎日の振り返り作業として、気づきノートに必ず記入してください。気づいたことの背景や原因についても必ず考えることが大切です。気づきや背景・原因はチーム内でシェアしてください。プログラム後半のワークショップではこの気づきのまとめ作業を行い、アクションプラン（帰国後活動計画）を作成し、報告会で発表していただきます。

2. プログラム中の様子や日本の魅力を、英語や各国言語を用いてブログ・SNSで発信しましょう

※世界に向けて、プログラムの様子や学校交流で発表する日本の魅力、発表後の現地学生の反応、交流時の写真・動画など、ブログやSNS (Facebook、Twitter、Instagram等) を活用し、自由に発信して下さい。

Ⅲ. 事後活動（帰国後）

1. アクションプランの実施及び報告（必須）

派遣中に現地で作成もしくは帰国後に作成したアクションプラン（帰国後活動計画）に基づき、派遣報告会等、帰国後に事後活動を行ってください。実施後、アクションプラン実施報告書を作成し、JICE 担当者へ提出してください。実施報告書は外務省へ提出すると共に、JICE の WEB サイトに掲載する場合があります。

2. プログラム直後アンケート・感想文の提出（必須）

カナダ滞在中に記入していただきます。感想文は外務省への報告書及び JICE の WEB サイトに掲載する場合があります。

3. 6ヶ月後アンケートの提出（必須）

帰国約6ヶ月後にJICEよりアンケート回答用のURLを送付しますので、期間内に必ず回答してください。全員の回答が揃い次第、外務省へ提出します。

※メールアドレスを変更した場合にはJICEへご一報下さい。

対日理解促進交流プログラム(KAKEHASHI Project)
全体日程(案)【大学生/大学院生派遣】8泊9日

No.		プログラム	ねらい
1日目	午前	成田空港 集合、渡航説明・健康状態確認	事業主旨・目的等を理解し、プログラム参加者としての自覚を促し、意欲を高める。またカナダでの安全管理・健康管理について確認する。
	午後	離日【成田国際空港発 → カナダ着】Ottawa	
2日目	午前	プログラムオリエンテーション 【表敬】日本国大使館 【表敬】政府・教育・研究機関	カナダの政治・経済・外交・歴史・文化等を知り、カナダ理解の一助とする。カナダにおける日本の位置づけや評価を把握し、「日本の強み・魅力」を発信する準備へとつなげる。また、カナダ政府機関等を表敬訪問し、日本の若者の代表として、事業のミッションについて説明する。
	午後	【企業訪問/JETRO訪問】	日系企業及び、日本に進出しているカナダ企業、JETRO等を訪問し、カナダと日本の経済関係・連携について知り、カナダ理解の一助とする。
3日目	終日	【視察】市内・郊外視察/地域活動への参加/その他	都市部と違う郊外の様子の見学や、ボランティアなどの地域活動に参加し、カナダ理解の一助とする。
4日目	終日	【歴史的・文化的施設訪問】	カナダの代表的な歴史/文化施設訪問、あるいは日本とカナダとの歴史的な関係が分かる施設を訪問し、その土地と人々に対する理解を深め、今後の日本とカナダとの関係を考察する一助とする。
5日目	終日	【大学交流】①カールトン大学/オタワ大学 ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演(経済・産学・歴史・自然・文化等) ・カナダ学生からのカナダ紹介プレゼンテーション ・カナダ学生とのディスカッション	カナダの同世代の青少年に対し、日本の経済・産学・歴史・自然・文化などについてプレゼンテーションを行い、カナダ学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、カナダ学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本とカナダ間の友情を育む。
6日目	終日	【大学交流】②カールトン大学/オタワ大学 ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演(経済・産学・歴史・自然・文化等) ・カナダ学生からのカナダ紹介プレゼンテーション ・カナダ学生とのディスカッション	カナダの同世代の青少年に対し、日本の経済・産学・歴史・自然・文化などについてプレゼンテーションを行い、カナダ学生が日本の良さを知り、日本に関心を持つきっかけ作りを行う。また、カナダ学生からも同国の良さをプレゼンテーションしてもらい、両国の特色に関するディスカッションを行う。また、相互交流を通じ、日本とカナダ間の友情を育む。
7日目	午前	【ワークショップ】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案(学んだ事をどう活かすか、継続的な日本に関する情報の発信方法等)について、カナダ関係者に報告する内容をまとめる。
	午後	報告会準備 【報告会/歓送会】	今回のプログラムから学んだことや帰国後活動案について、日本国総領事館・カナダ政府・交流学校関係者等に報告する。
8日目	午前	帰国準備	
	午後	Ottawa【カナダ発 → 成田国際空港着】	
9日目			帰国 解散